

平成 29 年度 社会福祉法人春風会 事業経営基本方針

① 本当の経営と社会貢献が問われる時代、日本版 CCRC の検討

社会福祉法人改革により、社会福祉充実計画による地域貢献事業の展開や公益的な取り組みの実施が求められる。日本版 CCRC の構想「シェア金沢」のように、子供から大学生、住民、高齢者まで、世代や障害の有無を超えて色々な人が繋がり共に暮らしながら地域づくりに参加する街の実現に向けて検討をしていく

② 人を育てる文化を継承する法人、ケア業務と一般業務のすみ分けによる人材育成と確保

- (1) ケアの専門業務と一般的な業務のすみ分けにより、経験や専門知識・技術を必要としない仕事を定年退職者や家庭の主婦層、障害者の方にもお願いしていく事が必要と考える。
- (2) 結婚や出産等で一度退職した元職員を積極的に職場復帰できるように支援する再雇用対策と、EPA による外国人の雇用を促進し、人材の確保に努める

③ 職員の英知の集結と創意工夫提案制度

- (1) アイデアコンテストの開催により職員の英知を集める
- (2) 3行提案・創意工夫提案制度を各施設にて随時実施する

④ 法人の経営方針の徹底と効率的な事業展開

- (1) 華美を戒め、無駄を省き、質実剛健な経営、健全で安全な経営を推進し、品質が高く安全な介護・福祉サービスを提供する
- (2) 職員一人ひとり質を高め、サービスの向上を図る

⑤ 安全で高品質な介護と介護の魅力発信、介護ロボットの活用

- (1) 安全と品質はすべてに優先する
- (2) 付加価値のあるサービス、買手本位の発想による利用者ニーズに応えたサービスを創造する
- (3) 介護ロボットの活用や情報の IT 化を推進など、介護現場の負担軽減による職員の健康を保持し明るく働ける介護現場を作る

⑥ 研修制度の充実と職員の処遇改善、福利厚生への推進、快適で安全な介護を目指す

- (1) 職員のモラル・マナー教育を推進し、職員の人材育成に全力で取り組む
- (2) キャリアアップ制度を確立し、職員が将来の夢を持って働ける職場環境の構築を図る
- (3) 福利厚生の充実とキャリアアップにより職員自らが努力して給与が上がるシステムを構築する
- (4) 人間ドック・脳ドックなどの検診の一部補助など職員の健康管理の充実を努める
- (5) 法人内研修受講者に対する最終確認の効果測定を行い、ケアマイスター・接遇マイスター制度の確立を検討していく

⑦ 地域包括ケアシステムの推進と24時間のコンビニ経営を図る

- (1) 地域にきめ細かい事業展開を行い、特養の 24 時間サービスを地域社会の中で実践することを目指す
- (2) 認知症ケアの専門性を図る。認知症デイサービスのマニュアル化、プログラム開発、認知症ケアパスの研究を推進する